

経営比較分析表（令和3年度決算）

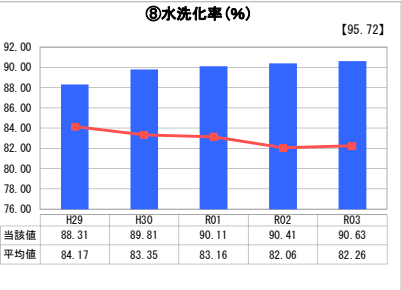
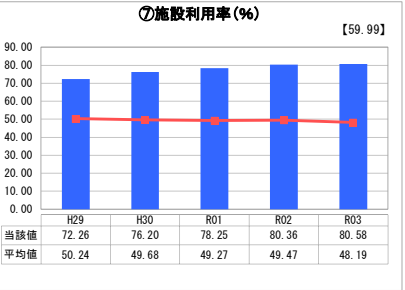
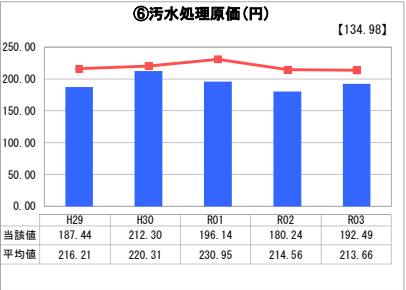
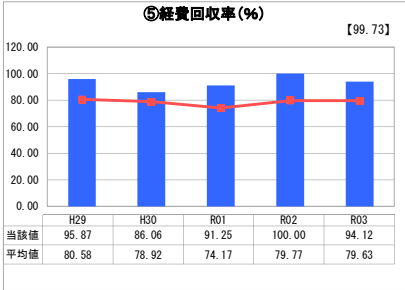
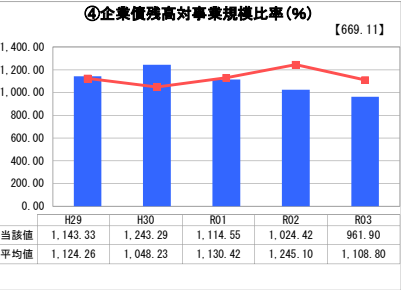
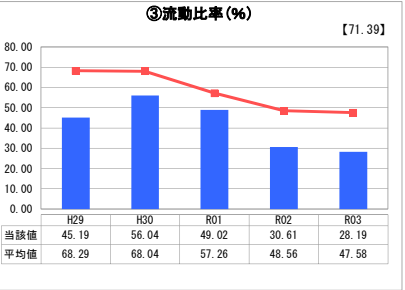
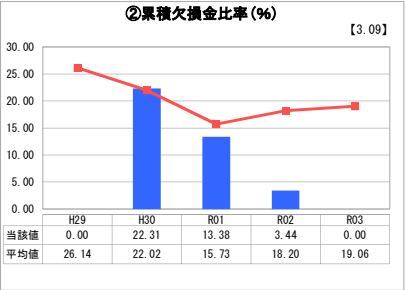
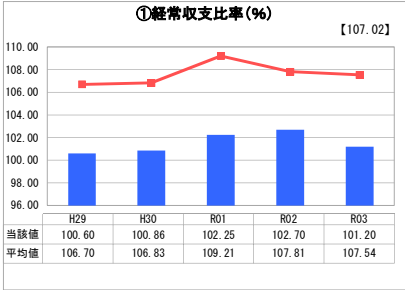
北海道 むかわ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	68.14	43.51	67.27	3,860

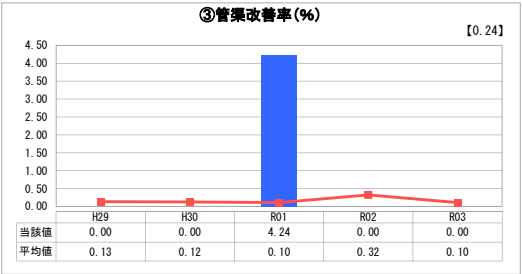
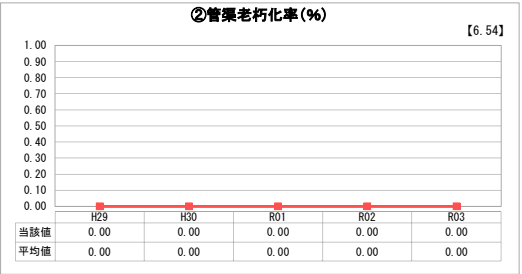
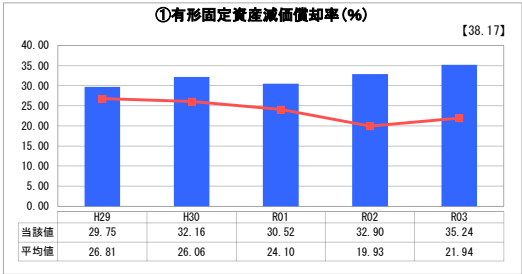
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,579	711.36	10.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,277	1.54	2,127.92

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

②累積欠損金比率について、平成30年に発生した北海道胆振東部地震により被災した施設・管渠の復旧に多額の費用を要したため欠損金が生じていたが、令和3年度で解消された。

⑥汚水処理原価についても、平成30年度は震災の影響による大規模な料金の減免を行ったことにより、有収水量が減少し汚水処理原価が増加している。

それ以外については問題は無いが、実経営面では、繰入基準以外の一般会計負担により一部補填している。

2. 老朽化の状況について

公共下水道は平成9年3月に供用開始してから、25年程度しか経過していないため、②管渠老朽化率の数値は現れていない。

全体総括

現在のところ、経営は健全と言えるが、今後の人口減少の動きに合わせた効率性を検証し、総合的に施設や管渠の整備を図って行く必要がある。

また、管渠については、基本耐用年数が50年で更新時期までまだ年数はあるものの、公共施設等総合管理計画において、町道の改良・改修に合わせた更新によるコスト削減を図り、単年度当たりの建設改良費平準化を行いながら計画的に更新していくこととしている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。